

コロンビア月例報告（11月分）

外交・内政状況

2012年12月

コロンビア日本大使館

I 概要

【内政】

- 7日 アンティオキア県における農民10名の殺害事件
- 7日 司法部門ストライキの終結
- 12日 バジェ県における治安会議の招集
- 19～29日 政府とFARCの和平交渉（於：ハバナ）
- 21日 一年半にわたりFARCにより誘拐されていた中国人4名の解放

【外交】

- 2日 コスタリカ大統領及びホンジュラス大統領のコロンビア訪問
- 5日 ブラジル外相のコロンビア訪問
- 9日 太平洋同盟外相会合（於：カルタヘナ）
- 14～17日 サントス大統領のポルトガル・スペイン訪問
- 19日 ICJ判決の言い渡し
- 26～28日 コロンビア・米ハイレベル治安対話（於：ボゴタ）
- 29～30日 UNASUR 首脳会合・外相会合（於：ペルー）

II 本文

【内政】

1 アンティオキア県における農民10名の殺害事件

7日早朝、アンティオキア県サンタ・ロサ・デ・オソス市郊外サン・イシドロ村のトマト農園に武装した男3名が侵入し、みかじめ料を払わなかったとして、農民10名を殺害した。26日、新興非合法武装勢力「ラストロホ」から派生した「レナセンティスタ」に所属する首謀者及び実行犯が逮捕された。

2 司法部門ストライキの終結

7日、コレア法務大臣は、司法部門労組と賃上げ等の条件で合意し、28日、裁判所や検察庁職員によるストライキが終結した。明2013年1月より、5年間で1.22兆ペソの財源を確保し、司法部門の公務員給与が賃上げされる。今回の2ヶ月近くにわたるストライキの経済的損失は600億ペソに上り、12万件以上の司法手続きに支障が生じた。

3 バジェ県における治安会議の招集

12日、ピンソン国防大臣は、麻薬取引の利権を巡り、新興非合法武装勢力間の抗争が激化しているバジェ県ブエナベントゥラ市において、治安会議を招集し、同市に200名

の警察官を増員することを決定した。同市では、麻薬関連の抗争により、ここ2ヶ月で55名が殺害され、4000名が住んでいる場所を追われて避難している。

4 政府とFARCの和平交渉（於：ハバナ）

19日、FARC書記局は、ゲリラ部隊に対し、11月20日から1月20日までの2ヶ月間、公権力に対する軍事作戦及び公的インフラの破壊活動を停止することを命じた。しかしながら、停戦宣言開始日から既に複数の攻撃事案が発生している。

19～29日、ハバナにおいてコロンビア政府とFARC代表による和平交渉会合が開催された。会合では、和平交渉における市民参加を目的として、総合農村開発に関する対話フォーラムを実施すること、並びに和平に関する市民からの提案を受けつけるホームページを開設することで合意した。12月5日に再開される和平交渉において、対話フォーラム等における市民による議論や提案が反映される。

5 一年半にわたりFARCにより誘拐されていた中国人4名の解放

22日、客年6月にコロンビア革命軍（FARC）により誘拐された中国人4名が、17ヶ月ぶりに解放された。中国人技術者3名は、エメラルド・エナジー社（中化集团公司（sinochem）の子会社）の下請企業であるグレート・ウエスタン・ドリリング（GWDC）社所属であり、コロンビア在住の中国人通訳1名を伴って、地震探査を実施するため、カケタ県サン・ビセンテ・デ・カグアン市より20キロ離れたサン・パブロ地区付近をジープで移動中に誘拐されたもの。

【外交】

1 コスタリカ大統領及びホンジュラス大統領のコロンビア訪問

2日、サントス大統領は、コロンビア国家警察121周年式典に出席した。同席したチンチージャ・コスタリカ大統領及びロボ・ホンジュラス大統領は、コロンビア国家警察による中米での治安協力に対する謝意を表明した。

2 ブラジル外相のコロンビア訪問

5日、パトリオッタ・ブラジル外相がコロンビアを訪問、オルギン外相と二国間の協力関係の強化の方策について意見交換した。両国外相は、国境協力、外交官学校の交流等につき合意した。パトリオッタ外相は、コロンビア政府によるFARCとの和平交渉に対する支持を表明した。

3 太平洋同盟外相会合（於：カルタヘナ）

8～9日、カルタヘナにおいて、太平洋同盟高級事務レベル会合（GAN）及び閣僚会合が開催され、通商と統合、サービスと資本、協力、太平洋同盟の枠組み、人の移動、ビジネス環境、通過査証に関する便宜措置、税関及び領事業務に関する域内協力等に関する意見交換が行われた。

4 サントス大統領のポルトガル・スペイン訪問

13～17日、サントス大統領は、マリア・クレメンシア大統領夫人、オルギン外相、グラナドス商工観光相、アルバレス・コリア運輸相、ラコトゥール輸出振興機構（PROEXPORT）総裁及びコロンビア人企業家らを伴って、ポルトガル及びスペインを訪問した。ポルトガルにおいて、コエーリョ首相と会談し、航空協定、高等教育での単位交換に関する協定、及び向精神薬分野での協力に関する覚書等に署名した。

スペインでは、カディスを訪問、ファン・カルロス1世に謁見したほか、ラホイ首相と会談した。その後、第22回イベロアメリカ・サミットに参加した。さらに17日、サントス大統領は、カディスにおいて開催された第5回太平洋同盟首脳会談に出席した。

5 ICJ判決の言い渡し

19日、国際司法裁判所（ICJ）が発出した「領土及び海洋紛争」事件（ニカラグア対コロンビア）判決を受け、サントス大統領は副大統領及び関係閣僚を伴ってサン・アンドレス島を訪問し、今後の対応について検討した。

28日、サントス大統領は、コロンビアとしては、領土及び海洋の線引きは、今般のICJの判決のようなものではなく、コロンビアの伝統である国際約束に基づくものでなければならずと述べ、コロンビアがICJの管轄権を受け入れる根拠となった米州機構のボゴタ条約の枠組みから撤退する旨米州機構事務局に通告した。

6 コロンビア・米ハイレベル対話（於：ボゴタ）

26～28日、ボゴタにおいて、コロンビア・米ハイレベル治安対話が開催され、米からは、マクドナー米国家安全保障会議参事官、ウィテイカー国務次官補代理（西半球担当）、ブラウンフィールド国務次官補（国際麻薬及び法執行担当）、マッキンレー当地大使らが出席した。コロンビア側からは、ピンソン国防相やコリア法務相が出席した。

7 UNASUR 首脳会合・外相会合

29～30日、ペルーにおいて、UNASUR 首脳会合及び外相会合が開催され、サントス大統領及びオルギン外相が出席、民主主義の強化、市民の政治参加、地域統合の方策等につき意見交換した。

（了）